



宇宙飛行士と受験生

2017年12月17日（日）日本時間午後4時21分、日本人宇宙飛行士の金井宣茂（かないのりしげ）さんを乗せたロシアのソユーズ宇宙船が、カザフスタンのバイコヌール宇宙基地からソユーズロケットで打ち上げられました。19日午後には、無事に国際宇宙ステーションに到着しました。2018年6月3日までの5か月半を宇宙ステーションで過ごし、無重力空間でのマウスの飼育やタンパク質の結晶生成実験など、科学実験に取り組むそうです。日本人宇宙飛行士としては12人目、日本人宇宙飛行士長期滞在者としては7人目になります。現在も、金井宇宙飛行士は多くの人の夢と期待を背負い、大きなミッションを遂行中です。宇宙飛行士になるために長年努力をしてきた金井宇宙飛行士。命を懸けた仕事にいよいよ出発する瞬間、どんな気持ちになったのだろうと想像します。金井宇宙飛行士は、宇宙服に着替えた後、出発前に家族にこう話したそうです。



「普段どおり。がんばってくる。」

なんて冷静で力強い言葉でしょう。感動しました。日頃から努力をしている自分への自信も感じられるこの言葉は私にとっては素晴らしいと思いました。宇宙へ飛び立つ金井宇宙飛行士を、ご両親やご家族は、信頼し、安心して見送ることができたのだらうと思います。

いざという時の心情は、人によってさまざまです。ある人は「緊張してしまう」と思うかもしれませんし、また、ある人は上手にリラックスして臨むかもしれません。「楽しみで仕方ない」と思うかもしれませんし、「嫌だなあ」と思う人もいるかもしれません。自分だったらどうでしょうか。金井宇宙飛行士の言葉はまさに「平常心」。皆さんも不安があるかもしれませんが、ふだんどおりの生活をしながら、一生懸命勉強に励みましょう。そして心と体をしっかり整えてください。そうすれば、試験本番の朝きつと「普段どおり、がんばってくる。行ってきます。」と家族に告げて家を出ることができるのではないのでしょうか。

まずは学年末テスト

1月18日・19日・22日に中学校生活最後の定期テストが行われます。提出物を出す！などというレベルの低い目標ではいけません。3年間の努力を発揮して、今までで一番達成感のあるテストにしましょう。ちなみに、冬休み明けの国語の提出物は、これまでの中で最も努力の跡が見られる内容でした。とてもがんばりましたね！！

懇談会のお知らせ



1月30日・31日・2月1日に懇談会を行います。この懇談会では公立高校受検校を決定・報告していただきます。また、公立高校の受検予定者は受検料を現金でお持ちいただきたいと考えています。愛知県立高校は、願書に収入証紙を添付することになっています。また、名古屋市立高校は現金を出願時に願書とともに提出することになっています。必要な証紙につきましては学校で一括購入して準備をしたいと考えています。愛知県立・名古屋市立ともに1校あたり2,200円となります。お釣りのないようにご準備いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

面接練習始まる

試験日の早い人から面接練習を実施しています。学年の先生だけでなく、他学年の先生にも協力をしていただいています。休み時間を使って友達と練習をする姿も見られるようになりました。面接はコミュニケーション能力が必要です。用意したとおりに話せなくても大丈夫です。面接官ときちんとした態度で会話をし、自分の考えや人柄を誠実に伝えられるようにしましょう。私からのワンポイントアドバイスは、「2文から3文で答える」ことです。どういふことかという、

1文目・・・聞かれたことを簡潔に答える。 2・3文目・・・自分の考えや感想を付け加える。
よかったら、参考にしてみてください。

私立高校・専修学校受験について

重要

【出願について】

推薦受験の人は1月25日（木）、一般受験の人は1月30日（火）に出願へ出かけます。朝学校へ登校し、受験校ごとにまとまって出かけます。身なりを整え、マナカなどへのチャージを行うなどの事前準備が必要となります。書類を出すだけだと軽く考えてはいけません。受験本番と同様の緊張感が必要です。学校によっては親切に駅から誘導をしてくれるところもあります。しかし裏を返せば駅から中学生の様子が見られているということです。大きな声で騒いだり、落ち着きのない行動をとったり、ルールやマナーを守らなかったりする人が一人でもいると、それだけで大きなマイナスです。詳しい説明は1月22日（月）の学活で行います。

【受験当日について】

○何時の電車に乗るか、どのような行程で行くかについては自己責任です。先生たちも保護者もついて行くことはありません。また、たとえ友達と約束しても、相手が遅れてしまったり、調子が悪くなってしまったりする場合があります。自分で時刻を調べ、経路や駅から学校までの道のりを調べて一人でも受験校まで行けるようにしておかなければなりません。推薦入試、一般入試ともに前日までに事前指導を行います。それまでに調べておいてください。

○もし、インフルエンザ等の診断が出た、または診断は出なかったが高熱が続きインフルエンザが疑われるというような場合は、必ず中学校へ連絡してください。別室受験などの措置をとる学校が多くありますが、必ず中学校を通して受験校に連絡をしなければなりません。また、その場合、保護者の方にはお子さんの受験に付き添っていただくことになります。保護者の待機場所を設ける場合や、試験終了時刻に迎えに来てもらう場合など、学校によってさまざまです。受験校の指示通りの動きをお願いすることになりますのでご了承ください。



【受験が終わったら】

合格したら、指定された期日までに必ず一時金を振り込んでください。2校以上受験した場合は、志望順位の高い学校1校に確実に振り込みをしてください。振り込み確認書等を中学校に持参し、担任のチェックを受けていただきます。合格しても一時金を振り込まなかった場合、入学の資格を失ってしまいます。公立高校の受験で残念ながら合格できず、私立高校の一時金を振り込まなかったために、進学先が一つも無くなってしまったという事態になってしまいます。またこの場合、たとえどこかの学校で二次募集があったとしても、募集資格は「どこの学校にも合格していない生徒」であるため、受験することはできません。そこから進路先を考えて行くのは非常に難しいです。必ず期日を確認し、一時金を振り込んでいただきますよう、お願いします。